

課題名	「乳がん腋窩リンパ節郭清術後患者における Q-DASH を用いた肩関節可動域制限因子の検討」術後一年間のプロトコール介入の結果を用いて
承認番号	2023-7 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 リハビリテーション部 氏名 齋藤 成美
研究期間	(西暦) 2023 年 7 月 ~ (西暦) 2023 年 12 月
研究の意義・目的	乳がんにおける腋窩リンパ節郭清術後約一年経過時点で肩関節可動域制限を生じた患者さんの術後半年における主観的上肢機能評価 Q-DASH のスコアにおいて、各項目間で 2 群間に差があるのかを把握し、肩関節可動域制限の生じた患者の具体的な制限の要因を調べることを目的としています。
研究の方法 (対象期間含む)	2015 年 11 月~2022 年 9 月の間で、当院の乳がん腋窩リンパ節郭清術施行された患者のうち術後一年間のプロトコールを完遂した患者さんを対象にします。そのうち、術後一年時点で肩関節可動域制限の生じた患者さんとそうでない患者さんの 2 群に分け、術後半年時点の Q-DASH のうち Disability/symptom (機能障害/症状) の 11 項目のスコアを後方視的に比較検討します。
試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	患者さんの情報は研究用 ID を対応させて匿名化します。データについては電子カルテ内のファイルサーバー内に保存し外部への持ち出しなく取り扱います。乳がん術後の肩関節可動域制限の要因を主観的な評価を用いて把握し早期予防に生かすため下記項目の情報を利用します。収集した情報は本研究以外には使用しません。
利用又は提供する試料・情報の項目	カルテから抽出した肩関節可動域、機能障害/症状・仕事・スポーツ/芸術において上肢機能に特化した困難さを主観的に評価しスコア化した Q-DASH のスコアのうち機能障害/症状を中心とした 11 項目を使用します。
試料・情報を利用する者の範囲	横浜市立みなと赤十字病院 リハビリテーション部 齋藤成美 乳腺外科およびリハビリテーション部共同研究者
試料・情報の管理における責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 リハビリテーション部 齋藤成美
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属リハビリテーション部 氏名 齋藤成美 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) /FAX:045-628-6101